

当院では以下の研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

胆道・膵臓疾患における画像診断、内視鏡手技、 治療法の向上と早期発見に関する研究

1. 研究の対象

2000年1月～2024年12月に当院消化器センター、旭川医科大学病院消化器内科、旭川厚生病院消化器科、旭川赤十字病院消化器内科、市立旭川病院消化器内科、遠軽厚生病院内科、名寄市立総合病院消化器内科に通院または入院された/する胆道もしくは膵臓疾患を有する患者さま（疑診例を含む）

2. 研究目的・方法

【目的】

現代医療の発展は患者さまを診療した経験、結果をまとめて、学会や論文等で多くの医師がその情報を共有することによって発展してきました。また発信する医師自身も医学的に意義の高い診療結果をまとめたり、発表することによって、自分自身の勉強にもなり、今後の医療の質を高めることができます。私たちはそれぞれの施設でこのような研究を行ってまいりましたが、残念ながら一つの施設のみでは十分な解析ができないことがしばしばあります。そこで、複数の病院で共同して、胆道・膵臓疾患に関する画像診断、内視鏡手技、治療法の向上と早期発見に関する研究を行います。胆道・膵臓疾患の診断、治療の発展だけでなく、自分たち自身の診療の質を向上させることを目的としています。

【方法】

患者さまのカルテから、受診した時の症状や各種検査結果、治療内容とその結果などの情報をそれぞれの病院でまとめて、それぞれの病院で個人情報が入り込まないような処理（匿名化といいます）を行い、その後データを持ち合って集積し、解析を行います。

【研究期間】 承認された日～2024年12月31日

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、主訴、既往歴、家族歴、嗜好、職業、血液検査、画像検査 等

4. 外部への情報の提供

あらかじめ研究対象者の個人情報とは無関係の番号（研究対象者識別コード）を付して匿名化を行い、データセンターへのデータの提供はこの番号を使用し、研究対象者の個人情報が院外に漏れないように十分配慮します。研究対象者識別コード表（対応表）は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。

5. 研究組織

旭川医科大学内科学講座病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野（がんゲノム医学部門）

水上 裕輔

旭川厚生病院消化器科 河本 徹

旭川赤十字病院消化器内科 藤井 常志

市立旭川病院消化器内科 齊藤 裕輔

遠軽厚生病院内科 柳川 伸幸

名寄市立総合病院消化器内科 鈴木 康秋

札幌東徳洲会病院消化器内科 木村 圭介

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当院の研究責任者：札幌東徳洲会病院消化器センター 木村 圭介

〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話：011-722-1110（代）

研究代表者：旭川医科大学内科学講座病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野

（がんゲノム医学部門） 教授 水上 裕輔

（作成日：2021年11月24日）